

## 平成 19 年度 第 9 回三条市廃棄物減量等推進審議会会議録

- 1 開催日時 平成 19 年 9 月 25 日（火）午後 3 時 30 分～5 時
- 2 会 場 市役所 4 階第 3 委員会室
- 3 出席者等 委員：西澤会長、五十嵐副会長、坂内委員、箕輪委員、佐久間委員、  
箕輪委員、原田委員、柴沢委員、中村委員、野崎委員  
大久保委員  
市：生活環境課（大平課長、永田補佐、高橋副参事、齋藤主任、  
大谷主任）、清掃センター（尾崎センター長）  
計 17 人
- 4 審議会記録  
議長（西澤会長） 第 9 回審議会を開催いたします。本日の議題は「ごみの減量化方策について」であります。それでは事務局から説明願います。  
  
事務局（補佐） <ごみの減量化方策について説明、バイオマスタウン構想については齋藤主任が説明>  
  
箕輪委員 他市の例では、市が一生懸命施策を打ち出しても、市民が理解を示さない、乗ってこないこともある。  
書物にこういう事例が書いてありました、①事業系のごみを単価が安い家庭系のごみに混ぜて出す。②分別せずにごみを全部まとめて出す。  
これらをどうやって市民に守らせるかということですが、その方法としては、①自治会単位で責任を持ってごみを検査する、これをとにかく続けた、②児童に調査させて、児童が違反ごみにシールを貼る、などで徹底した事例があります。今、事務局から説明をいただいたものは、理解がある方が説明を受ければきちんとできると思いますが、理解がない方には、どんなに良いものを作ってもうまくいかない、市民理解をどう教育するかが問題である。  
最近、下田地区の山林への不法投棄が多くなってきていると下田の方から聞いた。  
  
坂内委員 下田地区は確かに大きな廃棄物が増えてきている。川原でのバーベキューごみも増えてきている。たて看板を立てても効果が期待できない。市民へいかに徹底させるかが大きな課題である。

- 大久保委員 1年に2、3回ボランティアで西山峠などを清掃している。幹線道路は少なくなったが、人目に付かないところにはテレビや冷蔵庫などが不法投棄されている。不法投棄対策や教育を行政とともに強化する良い方法がないかと思っている。
- 箕輪委員 市民教育の方法を今日の資料の中に入れてないと解決しない。市民のモラルを高めていかないと、どんなに立派なバイオマスの仕組みを考えてもうまくいかない。
- 佐久間委員 市民に分別をもっと意識させなければならない。ただ、やりなさいだけではなくて、分別することによって、どんなに資源がいかされるのか、市の経費がどれだけ助かるのか、堆肥化するのであれば、どれだけ良い野菜ができるのか、など分別した成果も市民に伝えなければならない。
- 市民に分別を習慣づけさせることが大切だ。月に1回くらい分別の日を決めて、全市一斉に自治会単位で取り組むことなどで、意識を高めていかなければならない。
- 議長（西澤会長） ごみの検査はプライバシーの侵害になりませんか。
- 中村委員 もし、地区毎に大きな回収場所があつて、そこに環境指導員がいて、いろんなごみを持って行った際に分別の指導をしてくれればうまくいくのではないかと思う。ごみの処理は各自が責任を持つことが大事だ。分別ができる人が負担し、できない人に手を差し伸べてもいいのではないか。
- 原信ではレジ袋の回収ボックスがある。レジ袋を使うなどという考え方からどう利用するかという仕組みづくりも必要だ。
- 三条市独自の取り組みを提案してほしい。民、官、学がリンクする施策を。
- もみがらを含めた堆肥づくりは非常に良いことだ、すばらしいものを作って売れるものにしてほしい。
- 原田委員 南四日町では老人会がダンボール、空き缶を積極的に集めて、その収益を老人会の活動費にしている。老人会は各世帯にチラシを配って収集活動している。これを全市に広めてもらうPRをしてもらいたい。
- 有名な野球人の奥さんが先日亡くなりましたが、その方は全国的な国のごみ減量委員でありました。その家庭では、10年以

上、生ごみを出したことがないとコメントされていました。その資料をわれわれに出していただいて三条市に PR してもらいたい。

柴沢委員

新潟市の分別は、10 数分別になると説明を受けましたが、ますますむずかしくなると感じた。市民の 3R の意識は、意外と若い人はあると思う。フリーマーケットの機会がたくさんあれば、捨てることも減る。欲しい人がいればゆずったり、安く売るのも意識付けになる。

公園などでまつりがあった場合、ごみは家に持ち帰ろうと指導すると、必ずどこかで捨てていく。それを回収する手間よりも、公園にごみ箱を設置した方が手間がかからない。ごみを持ち帰りなさいとしめつけると不法投棄が増える。

野崎委員

三条はまだまだ分別がゆるい。小さいお菓子の箱などもリサイクルできることを教えてほしい。

議長（西澤会長）

指導員を配置すれば経費がかかる。老人会の取り組みが一番良い。他の地域は実施してないのですか。自治会で回収しているところはありますか。

事務局（課長）

一部の地域では実施している。

市内には各自治会に環境美化推進員を設置している。少ない謝礼金の中で、毎週、毎日できるとなるとむずかしい。地域の中で、うまく分別指導できれば非常に良い。

中村委員

ドイツにはごみ保管場所に指導員がいて、分別などの教育をしている。

議長（西澤会長）

それを指導する人がボランティアであればいいが、手当を出すことになると財政的に厳しくなる。

原田委員

各自治会に衛生委員がいて、夏と秋に害虫駆除の予防をしてくれる。1年間少ない報酬をみんなで貯めて年の最後に納会をするとの話を聞いた。そういう方たちと一緒に分別指導を進めてはどうか。

五十嵐委員

学校教育でもごみの分別やポイ捨て禁止を実施してほしい。

- 事務局（課長） 衛生組合は旧三条地区だけあり、栄、下田地区にはない。環境美化推進員は三条市全域に存在する。役割としては、衛生組合は害虫予防が中心で、環境美化推進員はポイ捨て防止やごみステーションの巡回が中心。
- 五十嵐委員 今は、資源物の価値が高騰しているが、下がったときの不法投棄対策を検討していく必要がある。
- 事務局（課長） 仕組みをつくるだけではなくて、教育や啓発活動も提案をいただいた中で考えていければと思っています。
- 中村委員 市は「ごみ辞典」を各家庭に配布するなどして努力しているが、われわれ市民がそれに答えていない。一番市民に欠けているのは、自分たちが住む三条市を愛するということでしょうね。自分の家をきれいにするように三条市をきれいにする。  
衛生活動など自治会活動は自治会の予算で実施すべきであり、市はそれをPRしてほしい。  
食品関係業者は、かつおの残りかすやおからなどの廃棄に困っている。乾燥させれば良いが費用が何千万もかかる。ランニングコストや人件費など一企業ではなかなかできるものではない。市でそれをやれば、例えば、市が全てやるのではなくて、企業からお金を出してもらい、一箇所ですべてやってもらえれば非常に助かると業者の方々は言っている。
- 議長（西澤会長） ごみの分別の徹底は、やはり自治会単位でやるのが一番実効性があると思います。ただ、ごみの検査はむずかしい。
- 柴沢委員 うちの町内では、ルール違反のごみだけ中身を検査するようにしたら、良くなった。
- 箕輪委員 うちの町内でも実際に、ごみステーションに町内の方がついて、中身を確認したこともある。抵抗はあるが、一度やると分別が徹底される。
- 議長（西澤会長） 自治会単位におまかせしないとだめですね。
- 箕輪委員 町内ぐるみで申し合わせをしてやるのが原則でしょうね。

- 議長（西澤会長） 教育啓発のプログラムは、教育委員会との協議が必要になりますね。
- 事務局（課長） 学校となると教育サイドとの連携が必要です。自主的に取り組んでいる学校もありますので、そちらをきっかけにして広げていく方法もあります。
- 議長（西澤会長） 子どもの方がいろいろおぼえてくれると親が楽ですよ。子どもに聞けばいいわけだから。
- 事務局（課長） ペットボトルをひとつ分別するにも、キャップをはずし、ラベルをはいで出すことを知らない人もいっぱいいますからね。
- 議長（西澤会長） ラベルははげるんですか。
- 事務局（課長） はげるようにミシン目が入っています。
- 五十嵐委員 バイオマス事業の実際の取り組みは
- 事務局（齋藤） 将来的には、行政主導ではなくて行政から民間に情報提供し、国の支援を受けながら、民間ベースで施設整備や販売ルートの開拓をしていただき、新たなルールづくりは行政の仕事になる。
- 議長（西澤会長） しかし、市の方も補助金を出すようにしないと。
- 事務局（齋藤） ある程度、市としても考えていく。エネルギー展開を予定しているペレット分野の導入は、まず市の施設で使ってみてから、民間へPRしていく。
- 箕輪委員 生ごみ処理機器の補助制度はまだ行っていますか。
- 事務局（課長） 現在も補助制度は行っています。電動式とコンポスト式の2種類で補助制度を実施しています。
- 箕輪委員 普及率はわかりますか。
- 事務局（課長） 細かい数値は持ち合わせておりませんが、18年度は比較的に実績があがっています。

議長（西澤会長） 電動生ごみ処理機器を使って処理したごみは、そのまま一般廃棄物として捨てられることが多いですか。

事務局（課長） そうですね、減量されますので。コンポストであれば庭先でたい肥として使っているケースもあります。

緑のリサイクルセンターでせん定枝をリサイクルしています。本当に良いたい肥ができればどんなものにも使えますが、全てのものに使えるたい肥ではない。バイオマス構想のなかで、もみがらを利用したりして、田や畑などいろんな部分で使えるたい肥ができればより循環していくと考えていますが、まだまだむずかしい状況です。

議長（西澤会長） 一般的にはバイオマスというと廃棄物だけでなく、農産物を利用しますよね、そこまで考えてないのですか。

事務局（課長） 今、考えているのは、食品残渣、せん定枝、もみがら、家畜糞尿、間伐材、廃食用油です。

事務局（齋藤） 資源作物といわれるかぼちゃとかお米からエネルギー、菜種油などもありますが、三条市としては現状にマッチしないものもありますし、JAの方でやっている部分もありますので、すみわけをして実施していく。

議長（西澤会長） 廃油の利用は全国的には業者がありますよね。

事務局（課長） 新潟市にもありますし、燕市は公用車に廃油を使っています。

佐久間委員 今、三条市では、各家庭から出る廃油は集めていますか。

事務局（課長） 今のところ集めていませんが、市の調理場の廃油は循環させています。

佐久間委員 私どもも1か月相当廃油がでますが、新潟の業者が取りに来てくれます。巻の廃油業者の関連の方が、燕市のように廃油を利用するよう三条市に働きかけると言っていました。

事務局（課長） 集める仕組みがなかなかむずかしい。

- 佐久間委員                    問題は各家庭から出る天ぷら油の残りをどうやって集めるか、それが三条市でうまくまとめれば、けっこういいエネルギーの再利用になると思います。ディーゼルエンジンに使うといやなにおいがしない。いい香りがする。
- 議長（西澤会長）            けむりも少ないですよ。今しかし、家庭の天ぷら油は固めるテンブルで捨てているんじゃないですかね。簡単ですからね。まあ、業者相手でしょうね。
- バイオマスタウン構想に関することは次回でもよろしいでしょうね。今日は、ごみ分別の徹底については、結局自治会単位でいろいろ検討して実施していくのが、一番実行性があるだろうと、それとまた別途、市の方で要するに教育啓発プログラムをしっかりと作ることですね。
- あと不法投棄の問題にどう対処するかですね。確かに捨てやすい場所を作るとは不法投棄を減らすことになるかもしれないけれど、しかし、ごみを有料化しておいて捨てやすい場所を作るということは、いろんなごみをそこに捨てられることとなりますからむずかしいですよ。新潟市の古町には監視カメラがおいてあります。
- 事務局（課長）                三条市の実情は、栄地区であったり、下田地区の林道の脇に捨ててあたりします。今までは幹線道路沿いであったが、車を止められないようにするとその奥に入ってきて捨てられる。行政としても県と一緒に対処しておりますが、なかなかそこまで手が回らない。どうしてもそこをできないようにすると、また新しい場所に捨てていく、たちごっこ的なところがあります。明らかに犯罪ですので、きちっと摘発できればいいですが、夜中に捨てられることもありますのでむずかしい。
- 議長（西澤会長）            不法投棄対策はこの審議会で考えるのはむずかしい。
- 事務局（課長）                分別の中でお話があった白色トレイ、レジ袋、廃プラスチックについては、今三条市では分別収集してませんが、今後どのように考えていくか、また、レジ袋をどうやって減らしていくかについてもご検討いただければと思います。
- 事務局（課長補佐）           機密文書はどうですかね。

- 議長（西澤会長） 事業所単位でシュレッダーを入れると高くなりますかね。
- 佐久間委員 各事業所には入っているんじゃないですかね。
- 柴沢委員 ありますが、かなり高額のものでないとモーターが焼けてしまう。
- 柴沢委員 市の施設はあるんですよね
- 事務局（課長補佐） ないです。
- 佐久間委員 三条市は、シュレッダーごみは焼却処分ですか。
- 事務局（課長補佐） 回収するシステムがないので、焼却してます。
- 柴沢委員 機密文書の回収業者のトラックには、シュレッダーがついている車もあります。
- 中村委員 細かくシュレッダーすると繊維がとれなくなるので、再生紙用ではなく燃料になる。
- 議長（西澤会長） 事業所は考えているのか調査する必要がありますね。
- 事務局（課長補佐） 事業所の考え方を確認したなかで、対策を進めていかなければならない。
- 中村委員 分別がわからない業者へ分別を理解してもらうことによって、ごみの削減につながる。ごみ問題や環境問題を一步間違えると国の根幹にかかわることになりますので、行政と民間で連携を強化していかなければならない。
- 事務局（課長） 今日、ご提案いただいたものにつきまして事務局で文書にまとめまして、次回確認していただくことでよろしいでしょうか。